

第5回 在宅チーム医療を担う多職種連携研修 まとめ

1. 今年度の取組

研修については、都筑区医師会地域多職種連携協議会（以下多職種連携協議会）の取組として、幹事会にて内容を検討し開催しています。

今年度は、「区レベル地域ケア会議」で地域との連携が課題となったことを受け、①在宅患者は地域で生活する住民でもあることに気づく②インフォーマルサービスの活用やコミュニティの視点を持てることを目的に、講義とグループワークで支援方法や多職種の連携を考える研修を企画しました。講義には地域包括ケアシステムの説明を含み、事例では転入した高齢者を通してグループワークで考え合う内容としました。

2. 実施内容

●実施内容	◆日時：平成30年10月10日（火）19時15分～21時30分
	◆場所：都筑区役所 6階大会議室
	◆テーマ：医療・介護と地域の連携でその人らしい生活を支援する
	◆講師：つながるクリニック 医師 八森 淳 先生 社会福祉士 大友 路子 先生
	◆スケジュール： 19:15～ 挨拶 19:25～ 研修の目的と研修の流れの説明 19:35～ 講義（地域包括ケアについての説明も含む） 20:10～ グループワーク、ワールドカフェ方式での共有 21:00～ グループ発表、まとめ 21:25～ 講評 アンケート記入 21:30 終了
	◆参加人数 <u>143人</u>
	【内訳】 医師：11名 歯科医師：7名 薬剤師：13名 看護師：19名 ケアマネジャー：34名 介護職：4名 PT：7名 OT：2名 相談員11名 包括支援センター：4名 その他（管理者、営業、サービス責任者、課長）：9名 実習生：3名 行政職員：7名

●アンケート結果など

◆アンケート結果 回収率 83.2% (回答者数 119 名/143 名中)

①研修についていかがでしたか？

非常に良かった	良かった	どちらともいえない	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
69人	47人	2人	0人	0人	1人

- ・多職種の話しや意見が聞けた。気づきがあり参考になった。
- ・ワールドカフェ、樹形図などが新鮮だった。話がしやすかった。
- ・地域のつながりについて、どのような人がどのように関わっているのか理解できた。地域のつながりの大切さが実感できた。
- ・医療機関や介護事業所の集まりで地域に目を向けたテーマで盛り上がったことはとても大きかった。

②今回の研修で新たな発見がありましたか？

あった	どちらともいえない	なかった	無回答
107人	7人	2人	3人

- ・多職種の視点の違い、共通点など新たな発見があった。理解が広がった。
- ・他の職種へのアプローチを知ることができた。いろいろな場面で活かそう。
- ・多職種と交流する機会になった。楽しく連携できる場であった。
- ・地域包括ケアシステムとはどのようなものかについて、理解が進んだ。
- ・いろいろな職種がお互いに協力して力を発揮したいと考えている。具体的な事例の積み上げが足りないと感じた。
- ・専門職以外でも問題を持っている人に気づけることを知った。インフォーマルサービスとのつながりの重要性、地域の方との関わりの重要性を認識できた。
- ・いろいろな人がインフォーマルサービスを担えるという新しい発見があった。
- ・患者さんにとって様々な立場の人が必要なのだと、今回の研修の手法で理解できた。

③研修に関する意見

- ・また多職種で意見交換する場に参加したい。他の職種にも機会を広げたい。
- ・気軽に参加できる雰囲気が大切だと思った。
- ・介護職の参加が少なかったのが残念だった。



3. 次年度に向けて

マインドマップを用いた事例検討や、ワールドカフェ方式でのグループワーク結果の共有が好評であったため、次年度に向けて同じ形式での研修を検討します。